

新型コロナウイルス感染症対応マニュアルについて (3月13日～感染対策委員会開催まで)

政府は3月13日基本的対処方針を改訂し、マスク着用について屋内・屋外にかかわらず個人の判断に委ねられることになりました。また、5月8日から感染症法上では新型コロナウイルス感染症は「2類相当」の扱いになっていましたが、この位置づけを季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを発表しました。

これに伴い、(一財)北海道アイスホッケー連盟(以後道ア連と記す)は*4月には道ア連感染対策委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの改訂を公表する予定です。

それまでの間、地区連盟からの問い合わせに応じ、次のように実施してまいりますので、ご了解ご協力ください。

*大変申し訳ありませんが、4月に開催予定でした感染対策委員会ですが、都合により5月に延期することになりました。もうしばらくご協力ください。

○観客を除く関係者全員

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル(令和4年度有観客版)の順守に心がけてください。

アイスホッケーは密閉・密集・密着が避けられないスポーツで、多くの新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。今しばらく、マスクを含め、順守が必要と考えます。

○観客

「令和4年度(一財)北海道アイスホッケー連盟 アイスアリーナでの試合観戦におけるお願い」の運用は廃止いたします。

「マスクの着用」は、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。

しかし、「厚生労働省指針」にありますように、感染防止対策として重症化リスクの高い人や、人と人との距離が近い場面で会話・歓声・声だし応援を含めて発声する場面ではマスク(不織布マスク)の着用が推奨されていることもご理解の上、感染予防に十分気をつけ、アイスホッケーを楽しくご観戦ください。